

環境経営レポート

2022年度上期

(対象期間 2022年3月～8月)



未来産業の創造を拓く「発信基地」

柳田機器株式会社

作成日:2022年11月22日

目 次

1.	組織の概要	・・・1頁
2.	環境経営方針	・・・2頁
3.	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	・・・3頁
4.	主な環境負荷の実績	・・・4頁
5.	環境経営目標及びその実績・評価	・・・5頁
6.	環境経営計画の取組結果とその評価、次期取組み事項	・・・6頁
7.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、告訴等の有無	・・・8頁
8.	その他の取組み	・・・9頁
9.	代表者による全体評価と見直し、指示	・・・10頁

1. 組織の概要

1-1 会社概要

会社名	柳田機器株式会社							
所在地	本社	宇都宮営業所	水戸営業所	埼玉営業所				
	結城市結城7253	宇都宮市陽東2-16-1	水戸市河和田町4367	北葛飾郡杉戸町清地3-3-9				
事業内容	電気部品・機械器具の販売							
代表取締役	柳田 佳克							
資本金	1,000万円							
従業員数	15人	6人	6人	5人				
土地面積	740㎡	330㎡	600㎡	400㎡				
建物面積	500㎡	200㎡	120㎡	160㎡				
沿革	昭和38年3月	創業	昭和47年1月	開設	昭和48年9月	開設	昭和56年9月	開設
	昭和39年3月	有限会社						
	昭和45年5月	株式会社						

事業内容

- ・エレクトロニクス&パーツ・自動制御機器・電機機器・計測計装機器
- ・省力化機器・省エネ機器・マテハン機器・伝導機器・環境設備機器
- ・その他周辺機器の販売及びシステム開発

1-2 適用範囲及び目的

全組織・全活動を認証・登録範囲とする

- 1) 対象組織 1.1 会社概要所在地欄に記載
- 2) 活動 事業活動内容欄に記載

2. 環境経営方針

環境理念

当社は、事業活動と地球環境の調和を目指し、資源の有効活用と環境汚染の防止に取り組むと共に、環境マネジメントシステムの継続的な改善活動を推進し、地域、お客様、仕入先様から信頼を得られる企業を目指します。

環境方針

環境法規等の遵守

- ・ 当社に關係する環境関連法規及び当社が同意するその他の要求事項、顧客要求事項を遵守します。

環境に配慮した事業の推進

- ・ 環境側面に適した事業活動、取扱商品、サービス等を提供することを心掛け、環境保護活動を推進します。
- ・ 特に営業活動を通して、環境に関連する情報の提供および提案活動をし、環境配慮型商品を積極的にPR、拡販することを推進します。
- ・ 地球環境保護ため、不要照明の消灯、未使用のOA機器・PCの電源オフ、ガソリン使用量低減等の活動を通じて、省エネルギーを推進します。
- ・ 廃棄物は、分別化の徹底と低減化及び再資源化に努めます。

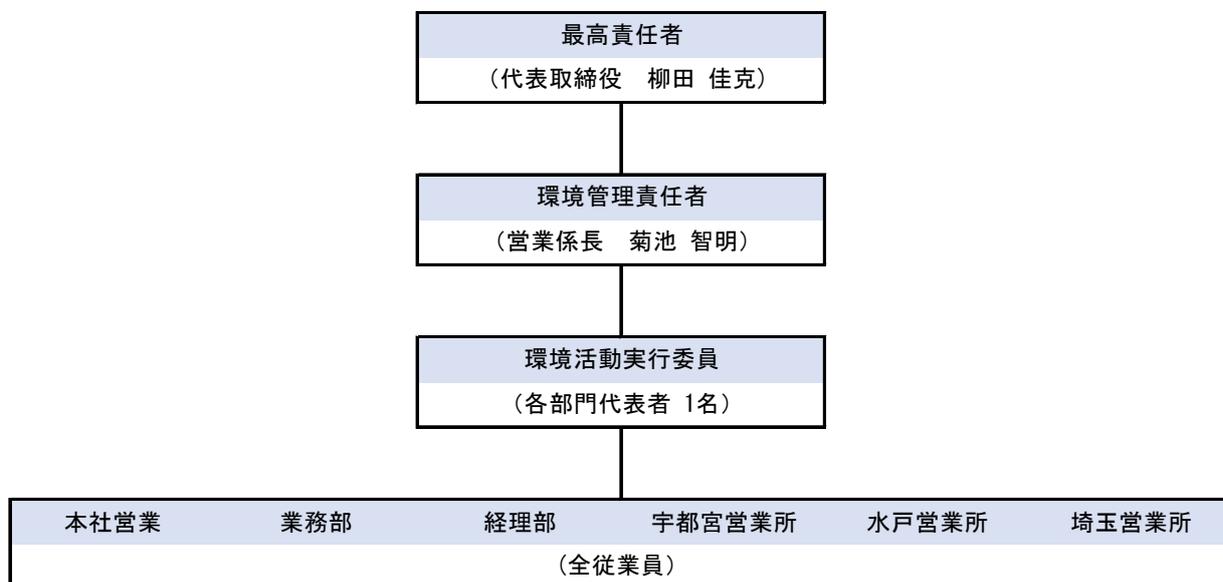
方針の社内外への周知と啓発活動

- ・ 全従業員参加のもと、環境マネジメントシステムの継続的改善活動を推進し、環境教育・啓発活動を通して従業員の環境に対する意識の向上を図ります。

2022年 3月 1日

柳田機器株式会社
代表取締役 柳田 佳克

3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割	責任及び権限
最高責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組み対象組織・活動の明確化 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 環境方針及び環境活動計画の決定及び改正・全従業員への周知 ・ 環境活動の実施・管理に必要な人員・設備・費用の準備 ・ 環境活動全体の承認及び評価と見直し・指示 ・ 環境経営レポートの承認 ・ 環境関連法規取りまとめ
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境への負荷と環境への取組み状況の把握及び評価 ・ 環境経営活動全体の構築、運用、維持に関する状況を最高責任者へ報告 ・ 環境目標及び取組み事項の承認 ・ 運用の指示及び取組み状況の把握・問題の是正及び予防 ・ 環境方針及び環境活動計画の周知
環境活動実行委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境目標及び環境活動計画の作成 ・ 環境活動の実績集計及び記録 ・ 環境関連文書及び記録の作成・管理 ・ 環境コミュニケーションの実施（教育・訓練の実施） ・ 環境経営レポートの作成・公表
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針の理解と環境への取組み重要性を認識し環境改善に取り組む

4. 主な環境負荷の実績

環境実態把握リスト(R3.3-R4.2月)本社、3営業所累計

エネルギーの使用

エネルギーの種類	主な用途(工程)	使用量(年間)	備考
電力	照明、OA機器	52,661 (Kwh)	
ガス	コンロ	70 (m ³)	
灯油	暖房器具	1239 (L)	
その他			

水の使用

水の種類	主な用途(工程)	使用量(m ³ /年)	備考
上水道	飲用、洗面関係	308 (m ³)	

自動車の使用等輸送

自動車の種類	台数(台)	ガソリンの種類	走行距離(千km)	消費燃料(L/年)	備考
バン	17	ガソリン		33735	
ワゴン	1	ガソリン		525	
乗用	2	ガソリン		3754	
乗用	1	軽油		1236	

紙の使用

紙の種類	主な用途(工程)	年間使用量(年間)	備考
OA用紙	A4.B5プリンタ用紙	280,500 (枚)	
納品書		37,500 (枚)	
封筒、窓付封筒		1,000 (枚)	
受注カード		(枚)	
その他	請求書表紙、等	400 (枚)	

包装・梱包材の使用

包装・梱包材の種類	主な用途(工程)	使用量(年間)	備考
ガムテープ		90 (巻)	
その他			

一般廃棄物の排出

廃棄物の種類	主な用途(工程)	排出量(kg/年)	備考
可燃ゴミ、不燃物	ゴミ処理場	1690	

5. 環境経営目標及びその実績・評価

4-1.重点実施事項

方針	取り組み事項	目標	目標値(2022年)	実績(2022/3~8月)	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力による二酸化炭素削減	電力消費量	電力使用量(KW)		
	基準年度実績(2021年)	前年比3%削減	本社 20,850	9,727	○
	52841kwh		宇都宮 12,270	5,761	○
	23303Kg-co2		水戸 8,990	4,554	△
	22年度目標	中期目標	埼玉 9,150	3,961	○
	50198kwh	前年比2%削減の継続			
	22137Kg-co2	(契約電力見直し)	合計 排出co2/kg		
			全社 22,137	10,585	○
	自動車燃料による二酸化炭素削減	燃費率向上	ガソリン使用量(L)		
	基準年度実績(2021年)	前年比5%向上	本社 18800	8618	○
	本社14982L(平均11.74km/L)		宇都宮 10600	4961	○
	宇都宮 11125L		水戸 8600	4277	○
	水戸 9029L	中期目標	埼玉 3200	1477	○
埼玉 3328L	前年比2%向上の継続				
*R3燃費率 ^テ - ^タ 本社のみの為	エコカー導入	平均 燃費率			
R4は本社平均を目標とする		全社 12.3Km/L	12.8	○	
廃棄物削減	一般廃棄物の削減	可燃ゴミ削減	可燃ゴミ排出量(Kg)		
	基準年度実績(2021年)	前年比10%削減	本社 1,520	690	○
	1690Kg				
		中期目標			
		前年比5%削減の継続 (売上金額比)	*本社一括管理		
産業廃棄物の削減	産廃排出記録	産廃廃棄管理表による	R4.5月産廃業者		
基準年度実績(2021年)	エビデンスを残す	管理	1.5L/m ³	○	
記録なし			エビデンス受領		
水使用量削減	水道水の削減	使用量を把握し無駄な	水使用量(m ³)		
	基準年度実績(2021年)	使用を減らす	本社 70	59	×
	本社 74m ³		宇都宮 110	51	○
	宇都宮 119m ³		水戸 65	32	○
	水戸 69m ³		埼玉 45	21	○
埼玉 46m ³					

*中間評価の為、月平均を基準に評価

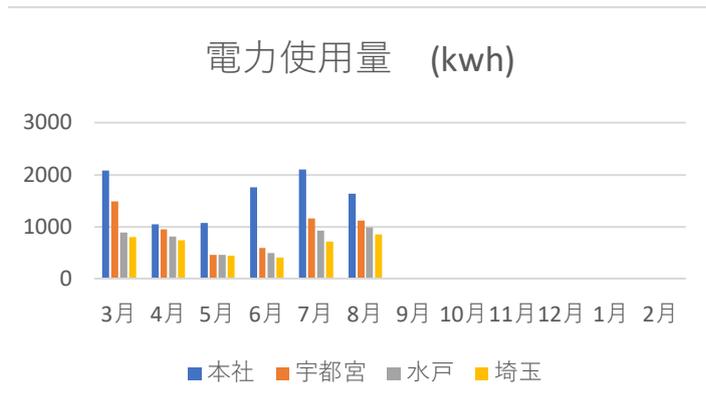
4-2.その他の実施事項

	取り組み事項	具体的実施事項	目的
1	環境活動の周知	推進会議開催、議事録の回覧	環境に対する意識を高め、環境に配慮
		活動内容の掲示、報告(毎月)	した社会活動を行う為
2	環境製品販売の促進	対象製品の勉強会	環境製品の知識、知見を深め環境に配慮
		メーカ展示会への参加 (情報収集)	した製品を世の中に供給し販売推進に繋げる

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次期取組み事項

6-1 電力による二酸化炭素削減

実施項目	具体的取組み	達成状況	取組み結果とその評価
		3~8月	
遊休照明の消灯	各スイッチへのテープラの貼付け	○	掲示や回覧により省エネの意識向上を図る事ができた コーポレート対策による定期的な換気によりエアコン稼働率が増えた 断熱フィルムの効果把握にはもう少し時間が必要だが現状では効果が薄い
未使用OA機器の電源OFF	社内回覧物の作成	○	
エアコンの温度設定の管理	室内温度 冷房28℃ 暖房20℃	○	
照明器具のLED化	LED化の推進	○	
エアコンのフィルター掃除	定期的にフィルター清掃	○	
照明の間引き	照明器具へのプルSWの設置	○	
断熱フィルム(遮光カーテン)	遮熱用に適所に使用	○	

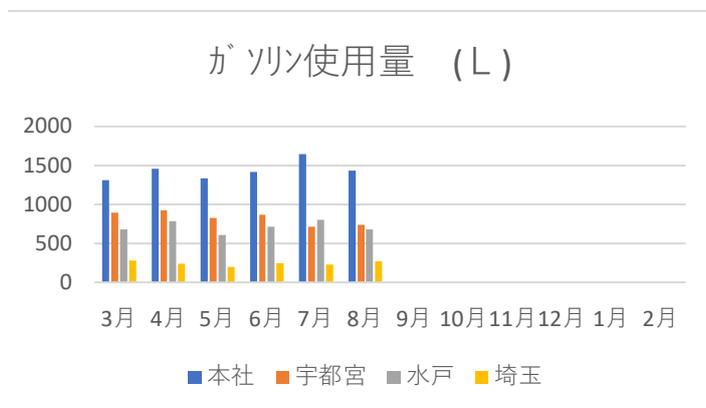


下期取組み事項
遊休照明の消灯 未使用OA機器の電源OFF エアコンの温度設定の管理 (707責任者の設置) 照明器具のLED化 (予算申請) 照明器具へのプルSWの設置 (工事推進)



6-2.自動車燃料による二酸化炭素削減

実施項目	具体的取組み	達成状況	取組み結果とその評価
		3~8月	
アイドリングストップ	走行データ、ガソリン使用量計測	○	エコドライブ10推進リーフレット掲示や走行データの収集、各使用者の燃費率を明示する事によりエコドライブ意識を向上を図る事が出来た 営業ルートの効率化については、担当客先の問題もあり営業活動との擦り合わせが必要
エコドライブ10の推進	エコドライブ10シール貼付け	×	
	エコ運転講習会への参加	×	
	エコドライブ推進リーフレット回覧	△	
配達ルートの効率化	営業ルートの効率化	×	

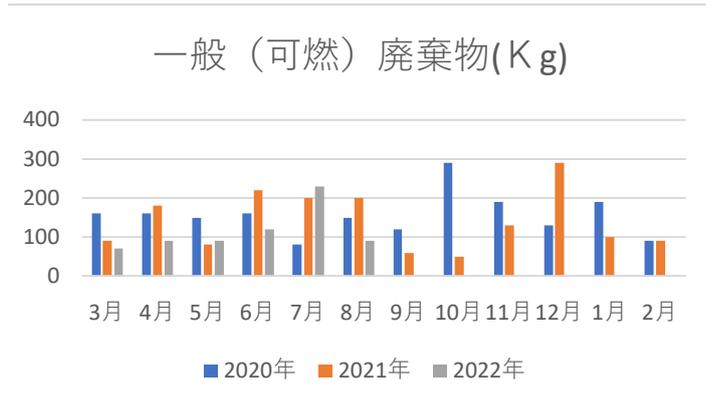


下期取組み事項
走行データ、ガソリン使用量計測の継続 エコドライブ10シール貼付け エコ運転講習会への参加 営業ルートの効率化 (担当客先、エリアの効率化)



6-3. 廃棄物の削減

実施項目	具体的取組み	達成状況	取組み結果とその評価
		3~8月	
排出ゴミ分別の徹底 リサイクル品の細分化 産廃処理業者との規約見直し 廃棄物置き場の整理	廃棄物管理運用手順書の作成 廃棄物の調査 リサイクル分別表の作成 産廃処理業者との契約書締結 廃棄物置き場の整理整頓	○ ○ ○ ○ ○	廃棄物運用手順書を作成しマニュアル化したことによりゴミ分別の促進（意識向上）が図れた 産廃業者とのマニフェストを締結しイベントを残ようとした リサイクル分別表の定期更新を行う事が必要（細分化）

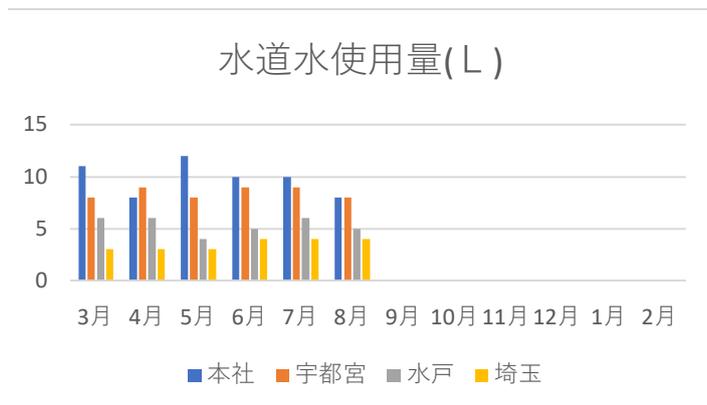


下期取組み事項
廃棄物の調査を行い、不正な処分を行っていないか確認 リサイクル分別表の更新を行いリサイクル可納品の細分化を図る リサイクル業者の再選定



6-4. 水、ガス使用量の削減

実施項目	具体的取組み	達成状況	取組み結果とその評価
		3~8月	
節水 ガス使用量の注意	水の出し過ぎに注意 夏季の温水使用の中止 必要以上の使用に注意 啓発POPの掲示	△ ○ ○ ○	飲料、水洗類の使用についてPOPの掲示等による意識の向上に努めたが本社の使用量が増加傾向にある為、その分析が必要



下期取組み事項
節水意識の向上 (POPの掲示、更新) ガス使用の削減 (電力化の推進)



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、告訴等の有無

7-1 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

環境関連法規等名称	該当する設備・項目	遵守状況確認・評価	
		チェック日	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・処理・委託	3月5日	○
消防法	消火設備	3月5日	○
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷蔵庫	3月5日	○
家電リサイクル法	家電製品の廃棄	3月5日	○
顧客要求事項	環境管理・グリーン調達	3月5日	○

7-2 外部からの環境上の苦情・要望並びに告訴の有無

各拠点ともに外部からの苦情等無し

各拠点ともに告訴無し

7-3 緊急時対応の施行・訓練

緊急事態の想定	火災の発生	
実施日	2022年11月15日	実施場所 : 本社
参加者	在席者全員	
実施内容	避難訓練、通報訓練、消火器の場所と有効期限の確認 通報訓練者 1名 : 消火訓練（消火器の確認）1名 それ以外は避難訓練（誘導・場所）	
評価	消火器の場所と有効期限、使用方法を確認した 火災対応手順書に沿い通報、避難訓練を行い問題なく対応出来た 手順書変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	

実施状況



8. 代表者による全体評価と見直し・指示

見直し実施日	2022年10月13日 <input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し			
見直し対象期間	2022年3月1日 ~ 2022年8月31日			
前回の指示への取組み結果	<p>ISO 14001-認定のEMS(本社のみ) から会社全体の取組みとして、全社員の啓蒙に努めた結果、取組みの徹底ができ社員の環境意識の向上を図れた</p>			
見直しに必要な情報	<p>1.環境関連法規の遵守状況 2.環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施及び運用結果 3.問題点の是正処置及び予防処置の結果 4.外部からの環境に関する苦情・要望 5.その他（法規制の動向や取引先からの環境調査依頼等）</p>			
代表者による評価 経営的観点	（環境経営システムが有効に機能しているか総括的に評価）			
	全社員が、環境取り組み事項に関与し、理解を深められるように活動できた 法規制の遵守、環境経営目標の達成、外部からの苦情の発生もなく環境経営システムは、有効に機能している			
	目標項目	達成状況	実施状況	目標・経営計画の実施状況の評価
	CO2排出量の削減	○	○	更なる削減に向け継続徹底
	廃棄物排出量の削減	○	○	分別の徹底と特に可燃ゴミの削減を図る
	水使用量の削減	○	○	節水こまの導入を図り、更なる削減を目指す
	環境活動の周知	○	○	継続して計画、実施を推進し全社員の意識を高める
環境製品の販売	△	△	定期的な勉強会を実施し、販売促進に繋げる	
代表者による見直し 改善の為に必要な変更 の有無・具体的な指示	環境経営方針	変更の必要性	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
	環境経営目標及び経営計画	変更の必要性	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
	実施体制	変更の必要性	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
	総括			
<p>各項目の目標に対して概ね達成ができた、引き続き目標達成に向けて継続的な活動に取り組む。環境製品の販売については、定期的な勉強会も継続的に実施し取引先に対して環境製品の販売促進を図りたい 全社員の啓蒙に努め環境意識向上を図り、会社全体の環境負担軽減に取り組みたい</p>				